

浜田市総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン及び総合戦略の進捗管理 修正箇所

I 進捗管理表

○ 次の4項目を修正（総合振興計画、総合戦略）

P2 1 水産業の振興 - 2 まき網漁業構造改革取組等数の増加

まき網漁業構造改革取組統数の増加 2 ※まき網漁船2ヶ統存続のための漁業構造改革取組船団数	0ヶ統	2ヶ統	0ヶ統	20.0%	C	○	水産振興課 (漁港活性化室)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	0ヶ統	0ヶ統	0ヶ統	0ヶ統	—	—	
	10.0%	20.0%	20.0%	20.0%	—	—	
	C	C	C	C	—	—	
【進捗状況】 まき網漁業の船団は、灯船3隻、本船1隻、運搬船1隻の計5隻で形成されている。まき網漁業の経営体2ヶ統に対して、浜田地域まき網漁業構造改革円滑化事業により、融資に係る利子補助を行い、2ヶ統とも運搬船(各1隻)の更新を行った。(2016年度：1隻、2017年度：1隻) ※2016年度～2018年度目標達成率誤り。2016年度 誤0.0% 正10.0%、2017年度 誤0.0% 正20.0%、2018年度 誤0.0% 正20.0%							
【今後の取組】 まき網漁業2ヶ統の本船(各1隻)更新に向け、国の「もうかる漁業創設事業」や「漁船リース事業」の活用を検討しており、今後も経営体との協議を進めていく。							

※達成率及び進捗状況の修正

P6 5 観光交流の推進 - 1 浜田の五地想ものがたり協賛店舗数の増加

浜田の五地想ものがたり協賛店舗数の増加 1 ※浜田の食材にこだわった地産地消メニュー提供店舗数	34店舗	40店舗	36店舗	33.3%	B	○	観光交流課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	34店舗	31店舗	32店舗	36店舗	—	—	
	0.0%	-50.0%	-33.3%	33.3%	—	—	
	C	C	C	B	—	—	
【進捗状況】 店舗訪問等により新規店舗の加盟に努めた。その結果、新たに7店舗が加盟した。3店舗が廃業等を理由に退会したので、4店舗の増加だった。 ※現状値の把握誤り。誤：年度当初数値 正：年度末数値							
【今後の取組】 引き続き、価格設定について3,000円以下（税抜）で設定いただけるように変更したことを、退会したお店にもPRし再加入に向けて取り組むとともに、新規加盟店の増加に努める。							

※現状値及び達成率の修正

P20 1 道路網の整備 - 3 県道改良促進

県道改良促進 3 ※14路線の内7路線、13工区の完了をめざす。	14路線 (21工区)	7路線 (8工区)	9路線 (12工区)	69.2%	A		建設企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	10路線 (16工区)	9路線 (15工区)	9路線 (14工区)	9路線 (12工区)	—	—	
	38.5%	46.2%	53.8%	69.2%	—	—	
	A	A	A	A	—	—	
【進捗状況】 8路線、9工区の改良が完了した。 2019年度以降の目標値が上方修正となっていたため削除。 2017年度、2018年度現状値を訂正。2017年度（誤）7路線14工区（正）9路線15工区、2018年度（誤）7路線7工区（正）9路線14工区							
【今後の取組】 引き続き改良事業の促進を行う。							

※現状値及び達成率の修正

P27 2 人がつながる定住環境づくりの推進 - 1U・I ターン者数の増加

U・I ターン者数の増加 1 ※各種支援制度を通じたU・Iターン者の数（うちIターン者数）	34人	50人						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	—	—		
	143.8%	381.3%	300.0%	350.0%	—	—		
	A	B	—	—	—	—		
2018年度以降、目標値を100人に上方修正	34人	100人	90人 (67人)	84.8%	B	○	○	定住関係人口 推進課 (政策企画課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	—	—		
	—	—	72.7%	84.8%	—	—		
	—	—	B	B	—	—		
【進捗状況】 市の各種支援制度等を通じたU・Iターン者数は昨年度に比べて増加した。一方、島根県人口動態調査による数値は、減少した。 【参考】石見部他市の2019年度U・Iターン者数（島根県人口移動調査）大田市187人、江津市151人、益田市162人、浜田市169人（2018年度浜田市180人）								
【今後の取組】 定住相談員を中心に、ふるさと島根定住財団や関係部署と連携しながら、移住相談者の名簿管理の徹底と丁寧なフォローを行い、Uターン者の地元就職やIターン者の移住に結びつく取組を進める。また、地方創生推進交付金を活用したインターンシップなどを行い、都市部からの移住者の増加を図る。								

※I ターン者数の記載

II 第2次浜田市総合振興計画前期基本計画の進捗評価について（案）

- 行間の調整
- 「昨年度」⇒「前年度」
- ③ 1行目 「人口」・「出生数」・「社会増減数」の「・」を削除
- P1 下から2行目 「そんな中でも」⇒「また、県の人口調査によると」
- P2 上から5行目 「浜田市では、」を追記

III 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗評価（5年・中間報告）

- 各基本目標に進捗状況のグラフを追加（別紙のとおり）

浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗評価（5年・中間報告）

（1）目標人口

○ 2060（令和42）年までに**37,619人**を確保する。

※ 国立社会保障・人口問題研究所の推計による2060（令和42）年の人口は29,332人

○ 目標人口に向けての考え方

- ・ 合計特殊出生率 2040（令和22）年までに**2.17**を目指す。
- ・ 社会増減 2040（令和22）年までに転入・転出を均衡させて**±0**を目指す。

（2）基本目標の進捗状況

基本目標1

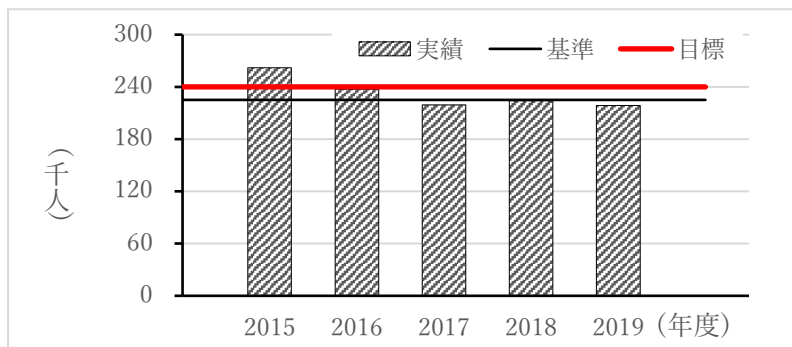
○ 産業振興と企業立地による雇用の創出

4つすべての基本目標において、目標達成が非常に厳しい状況となった。宿泊客数や合宿誘致人数については、自然災害や新型コロナウイルスの影響が大きく、特に落ち込みが大きい。

企業立地については、第1次産業の誘致で成果は上がってはいるものの、雇用創出数は目標の半分以下にとどまっている。地元就職者数については、少子化による学生数の減少から全国的な人手不足の状況が続く中、競争力の高い都会地での求人も多く、地元就職者数の確保が困難になりつつある。

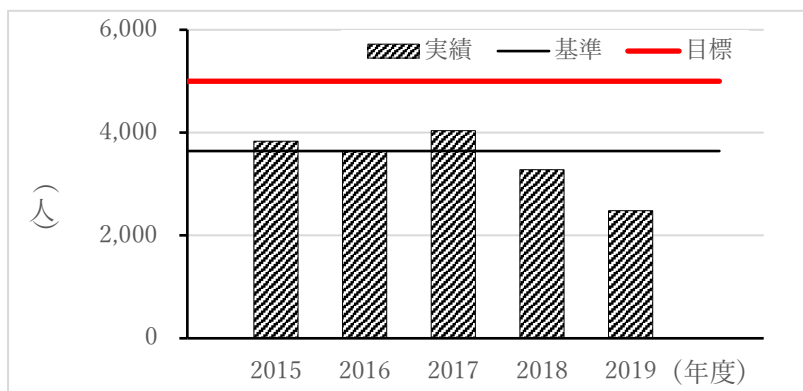
◆ 宿泊客数（目標：年間宿泊客数240,000人【2019年度目標値】）

	2014 年度基準	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2021 年度目標
実績	225,043人	261,903人	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	250,000人
達成率		246.4%	82.3%	▲38.4%	▲6.7%	▲42.2%	



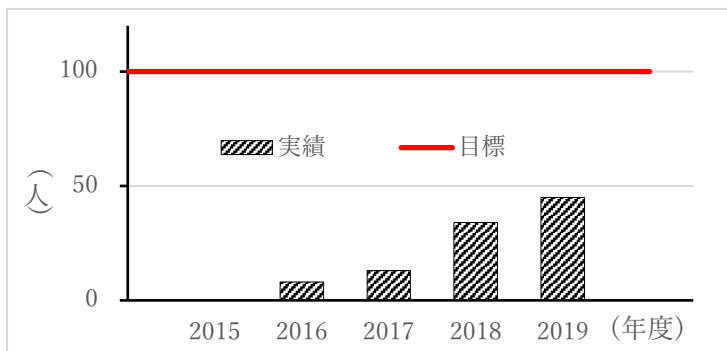
◆ 合宿等誘致人数（目標値：年間利用人数5,000人【2019年度目標値】）

	2014 年度基準	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2021 年度目標
実績	3,642人	3,831人	3,634人	4,036人	3,279人	2,483人	5,000人
達成率		13.9%	▲0.6%	29.0%	▲25.4%	▲85.3%	



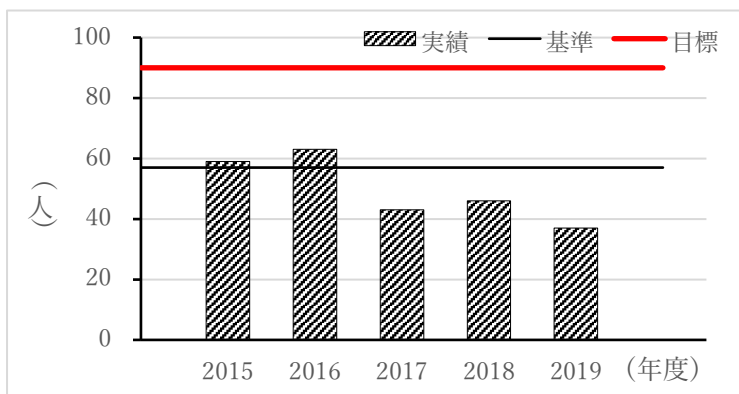
◆ 企業立地優遇制度による雇用創出数（目標値：5年間累計雇用創出数 100人【2019年度目標値】）

	2014 年度基準	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2021 年度目標
実績	4人	0人	8人	13人	34人	45人	100人
達成率		0%	8.0%	13.0%	34.0%	45.0%	



◆ 新規学卒地元就職者数（目標値：年間新規学卒地元就職者数 90人【2019年度目標値】）

	2014 年度基準	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2021 年度目標
実績	59人	59人	63人	43人	46人	37人	100人
達成率		6.1%	18.2%	▲42.4%	▲33.3%	▲60.6%	



基本目標2

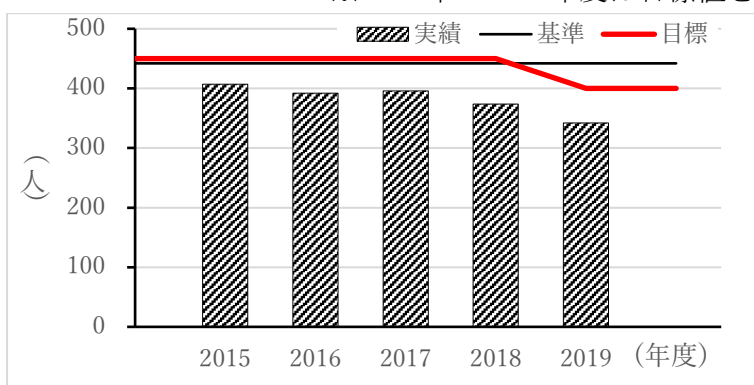
○ 子どもを安心して産み育てる環境づくり

出生数は、昨年目標値を下方修正したもの、さらに減少する結果となった。子どもを産み育てる世代の絶対数が減少していることも大きな要因と考える。

◆ 出生数（目標値：年間出生数 400人【2019年度目標値】）

	2014 年度基準	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2021 年度目標
実績	442人	407人	392人	396人	374人	342人	400人
達成率		▲437.5%	▲625.0%	▲575.0%	▲850.0%	▲138.1%	

※2015年～2018年度は目標値を450人、2019年度以降下方修正している。



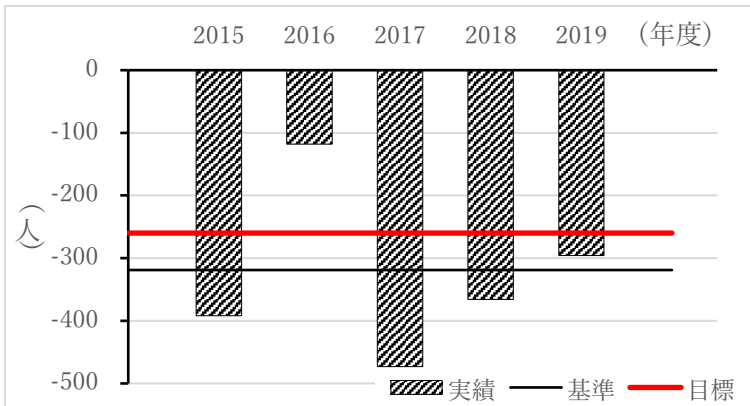
基本目標 3

○ U・I ターンや定住の促進とふるさと郷育の推進

昨年度の社会増者数の減少幅の縮小は、新型コロナウイルスの影響によるものと考えられる。5年間平均でも▲329人となっており、計画策定時より悪化している。

◆ 社会増減数（目標値：年間社会増減数▲260人【2019年度目標値】）

	2014 年度基準	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2021 年度目標
実績	▲319人	▲392人	▲118人	▲473人	▲366人	▲296人	▲260人
達成率		▲123.7%	340.7%	▲261.0%	▲79.7%	39.0%	



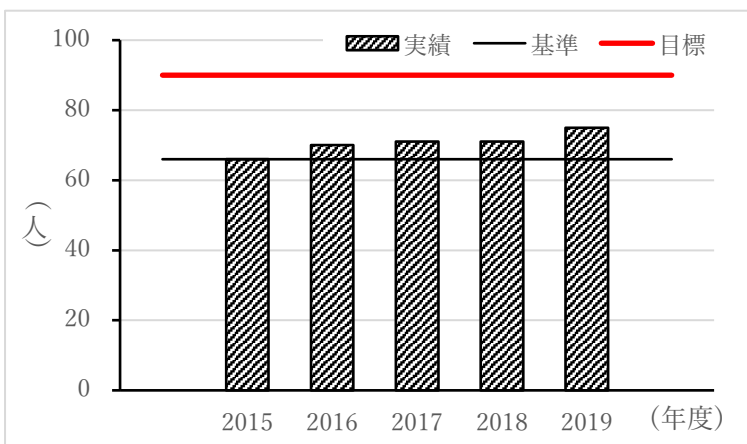
基本目標 4

○ 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまだづくり

組織されていない地域は浜田自治区のみ。当該地域は地縁による関係が弱く、地域課題の顕在化が小さいため設立が進まない中、5年間で新たに7地区の地区まちづくり推進委員会の設立に至っている。

◆ 地区まちづくり推進委員会の組織化（目標値：町内組織率90%【2019年度目標値】）

	2014 年度基準	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2021 年度目標
実績	66%	66%	70%	71%	71%	75%	90%
達成率		0.0%	16.7%	20.8%	20.8%	37.9%	



(3) 取組結果の検証

当初の計画期間である 5 年経過した時点で、目標人口到達のために掲げていた合計特殊出生率や社会増減数については、ともに目標達成に及ばず、厳しい状況となった。

◎ 人口推計に使用している目標値

目 標	策定時 (2014 年)	現況値 (2019 年)	目標値 (2040 年)
合計特殊出生率	1.65	1.77 ^{※1}	2.17
社会増減数 (人)	▲319	▲296	0

※1 地域少子化働き方指標 (第 4 版) 令和 2 年 9 月時点

個々の取組 (52 項目) では、約 8 割 (41 項目) が「A 評価」もしくは「B 評価」となっているものの、(2) にある「宿泊客数」、「出生数」、「社会増減者数」等を数値目標としている基本目標については、「A 評価」は無く、最も良い評価で「B 評価」に留まっている。

これは、個々の取組の成果が、基本目標に対して、大きな影響を与えることができなかったことが、要因の一つではないかと考えられる。

(4) 今後の取組

○ 基本目標に直結した取組

浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、2022 年度まで残り 2 年間となっている。

そこで、国や県においても重点施策として取り組んでいる、最も社会増減の減少が激しい 19 歳から 35 歳にターゲットを絞り、**本年度**からの 2 年間、「若者が暮らしやすいまちづくり」をテーマに掲げて取組を進める。

○ 新たな生活様式に対応した取組

新型コロナウイルスにより、社会生活は大きく変わり、東京一極集中の是正の考えのもと、大都市から地方への人口分散の動きが出ている。

この波に乗り遅れないためにも、テレワーク等場所にとられない働き方や ICT 環境整備など「新たな生活様式」に向けた基盤整備等についても取組を進める。

○ 社会減の要因分析

現在、目標を掲げて進めている施策については、引き続き取組を継続していく中、基本目標、特に「出生数」「社会増減数」を目標に近づけるための施策についての再検討も必要である。

令和 4 年度からの総合振興計画後期基本計画の策定に向け、転出者へのアンケート実施等、社会減の要因について、しっかりと調査、分析を行い、その結果を踏まえた政策の立案を目指す。